

# ICANNソウル会議概要報告

社団法人日本ネットワークインフォメーションセンター(JPNIC)  
インターネット推進部 部長 前村 昌紀

# 今回のICANN報告会

---

- ソウル会議に日本からの参加者多数。
  - 報告会でもたくさんの方からご発表いただきます。
  
- 第1部 – 各支持組織・諮問委員会からの報告
  
- 第2部 – 新gTLD関連のトピックに関して報告
  - レジストリ／レジストラ分離問題
    - インターリンク 才門 様
  - Expression of Interest WG動向
    - GMODメインレジストリ 大東 様
  - Right Protection Mechanismについて
    - ブライツコンサルティング ヘレン・ケンニヨン 様
  - 新gTLD申請における文字列競合・オークションについて
    - JPNIC理事 丸山 直昌

---

# 開催概要

## ICANNソウル会議概要報告

第26回ICANN報告会

2009年12月17日

# 会議概要 – 第36回ICANN会議

- 2009年10月25日～30日 韓国ソウルにて
- 111カ国, 1207人が参加
  - 日本から35人, 韓国から200人以上が参加

GNSO評議会から



会場となったロッテホテルの玄関



# スケジュール(抜粋)

10/24(土)	GNSOワーキングセッション, GNSO契約者会議ミーティング,
10/25(日)	ALAC+地域リーダーセッション, GACテーマ別セッション, GAC・GNSO評議会合同会合
10/26(月)	メインホール: Welcome Ceremony + 事務総長レポート, 新gTLDプログラム概要, IDNccTLDファストトラック, レジストリ・レジストラ分離, 悪意行為2セッション 他会議室: 期限後回収(PEDNR), IRTPパートB, SSAC会合, ccNSO Tech Day IDNレセプション
10/27(火)	メインホール: レジストラSG部会会合, “Get to Know ICANN”(初心者向け) 他会議室: GNSO緒SG・部会会合, ALAC会合, GAC会合, ccNSOメンバー会合, GAC/ALAC, 理事会/GAC, At-Large/非商用ユーザ部会 ガーライベント(国立博物館)
10/28(水)	メインホール: GNSO評議会, 戦略計画, 2009RAA, 新gTLD・商標保護, ルートゾンスケーリング調査報告, 理事会委員会, AoC 他会議室: ccNSOメンバー会合/評議会, GAC諸会合, At-Large関連会合, whoisデータ適正化, DNSSEC, 期限後ドメイン名回収 ミュージックナイト
10/29(木)	メインホール: パブリックフォーラム, インターネットガバナンス, DNS不正利用フォーラム 他会議室: GNSOまとめ会合, IANA IPv6ショーケース, SSRプロジェクト
10/30(金)	メインホール: 理事会委員会報告, SO/AC議長報告, 理事会

---

# JPAとAoC

ICANNソウル会議概要報告  
第26回ICANN報告会  
2009年12月17日

# JPAからAoCに

---

## ■ Joint Project Agreement: 共同プロジェクト合意

- ICANN創設以後、ICANNと米国商務省(DoC)との間で交わされたMoU(覚書)でDNS管理をICANNに委託することが規定されていた。
- 6回の改版を経て、2006年9月にJPAと改称の上更新、2009年9月30日に満了。

## ■ Affirmation of Commitment: 責務の確認

- JPAに替わり、2009年10月1日に発効
- <http://www.icann.org/en/announcements/announcement-30sep09-en.htm>

# AoC

---

- 期限が定められていない(JPAは3年間の期限付き)
- DoCに対する定期的な報告・評価に替わり、ICANNの自主評価に移行
  - 評価委員会はGAC議長、ICANN理事長もしくは事務総長、DoC情報通信担当次官補、ICANNの各諮問委員会(AC)および各支持組織(SO)の代表、および独立した専門家で構成。
- AoCは米国政府もしくはICANN一方の当事者の意思によりいつでも終了可能
- ICANNは引き続き米国に本拠地を置く一民間非営利団体として運営
- 民間移行に向けた大きな前進と位置づけ
- ソウル会議では、一部会議でAoCを受けた今後の対応などが議論された。

---

# 新gTLD

ICANNソウル会議概要報告  
第26回ICANN報告会  
2009年12月17日

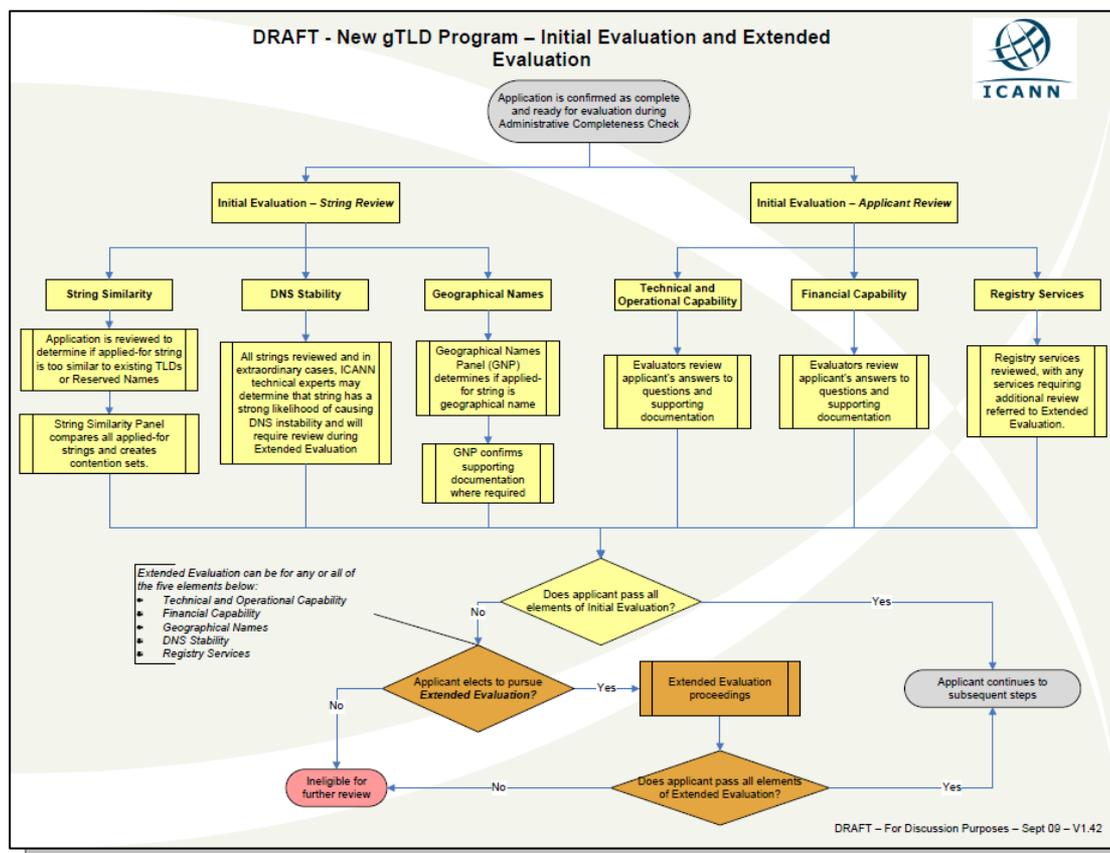
# 新gTLD

---

- 新たなgTLDの追加に関する制限を大幅に緩和
  - 一定の要件を満たしたものを準則的に承認
  - IDNも可能
- 応募要領のドラフト(Draft Applicant Guidebook: DAG) が公開されるとともに、意見聴取がなされ、改版。
  - Ver 1: 2008年10月
  - Ver 2: 2009年2月
  - Ver 3: 2009年10月
    - <http://www.icann.org/en/topics/new-gtlds/draft-rfp-clean-04oct09-en.pdf>
- ICANN Web 新gTLDページ
  - <http://www.icann.org/en/topics/new-gtld-program.htm>

# 募集要項はかなり固まりつつある

- DAGv3は150ページに及び、プロセスの詳細まで案が詰められている



一方で、多岐に渡る検討はまだ収束していない

---

■ 10月のソウル会議で「残課題」とされたもの:

- 商標保護
- コスト, リスク, メリットなど経済的な検討
- レジストリ・レジストラ分離
- IDNにおける3文字制限とバリエーション(異字体)管理に関する検討
- 悪意による行為に対する対策
- ルートDNSゾーンのスケールビリティ

# 商標保護に関して

---

- 2009年3月メキシコシティ会議において、理事会決議
- GNSO・知的財産権関係者部会(IPC)に対して要請が出され、商標保護に関する実装勧告を行うチーム(IRT – Implementation Recommendation Team) が編成された。
- 2009年6月シドニー会議でIRTの報告書が提出された
- IRT報告書を基に、権利保護機構(RPM: Right Protection Mechanisms)として継続検討
  - Trademark Clearinghouse
  - Uniform Rapid Suspension (URS)
  - Post-Delegation DRP (PDDRP)
  - Thick Whois(レジストリによる登録詳細の管理)の義務化
  - 類似性判別アルゴリズムの実装

# 今後の運び

## ■ 今後

- 残課題の検討 – コメント募集やコンサルテーションセッションなどで意見聴取
- 新gTLD応募に関する関心表明(Expression of Interest: EoI)の実施(検討中)

Resolved (2009.10.30\_\_), the ICANN Board directs staff to study the potential impact of a call for formal "expressions of interest," and provide a plan for Board consideration at ICANN's next Board meeting, in December 2009. The plan should include possible options and a risk analysis relating to the proposed action.

理事会決議 <http://www.icann.org/en/minutes/resolutions-30oct09-en.htm>

## ■ 2010年に

- DAG第4版を発行
- DAG最終版を発行
- 募集開始

---

## IDN ccTLD

ICANNソウル会議概要報告  
第26回ICANN報告会  
2009年12月17日

# IDN ccTLD – 多国文字国別トップレベルドメイン名

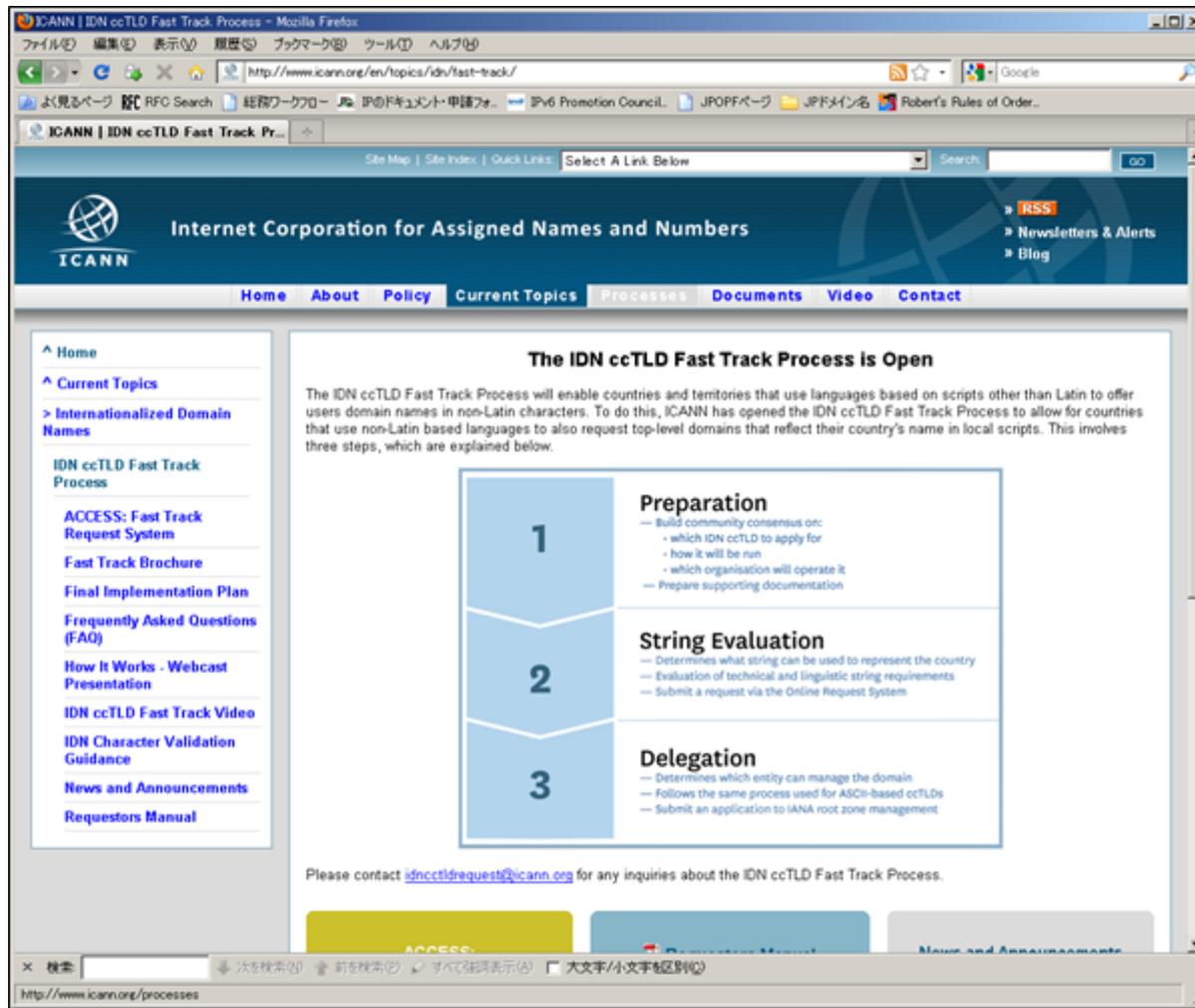
- IDN(国際化ドメイン名)による国別TLDを創設する
- 正式施行前にファストトラック(Fast Track)と呼ばれる先行プロセスを開始。
- 2009年10月ソウル会議中の理事会でファストトラックプロセスが承認され、正式に、IDN ccTLDの創設が承認された。



理事会承認直後の  
スタンディングオベーション

# ソウル会議の承認を受け、11月16日に受付開始

- <http://www.icann.org/en/topics/idn/fast-track/>



# 日本のIDN ccTLD:「.日本」

- ccTLDであることから、政府の支持及びコミュニティの承認が、レジストリの要件。
- 総務省 情報通信審議会において、支持の要件となるccTLDレジストリのあり方が議論され、答申にまとめられた。
  - [http://www.soumu.go.jp/main\\_content/000032869.pdf](http://www.soumu.go.jp/main_content/000032869.pdf)
- 答申では、民間の関係者による団体を設立して、「.日本」レジストリの選定を行うべきとされた。
- 2009年9月25日 「日本インターネットドメイン名協議会」設立
  - <http://jidnc.jp/>
- 選定基準などの検討が進行中

ccTLDの権限の委任に関しては、その国の政府の希望がきわめて重視されます。IANA は、いかなるTLD権限の委任または移転を協議するにあたって、それに大いに考慮を払うでしょう。ドメインに重大な利害関係をもつ当事者が、予定しているTLDの運営管理機関が適切な当事者であることに賛成していなければなりません。

ICANN ICPI和訳 <http://www.jpnict.jp/ja/translation/others/icp-1.pdf>

## Overview of Documentation That May Be Required

- **Government Support:** If the requester is identified as the IDN ccTLD (or the existing country-code top-level domain manager for the ISO 3166-1 entry) or an otherwise government designated representative, the requester must demonstrate support from the government or public authority of the territory corresponding to the relevant ISO 3166-1 entry. This letter from the government or public authority must satisfactorily document this support. A description of such letter and the requirements around it can be found in Module 5 to the Final IDN ccTLD Fast Track Implementation Plan.
- **Community Endorsement:** One criterion in the Fast Track Process is that the string and associated language(s)/script(s) be endorsed by the community. This endorsement documentation must be entered by all requesters. A description of the support can be found in Module 5 to the Final IDN ccTLD Fast Track Implementation Plan.

ICANN IDN ccTLD Requester Manual  
<http://www.icann.org/en/topics/idn/fast-track/idn-cctld-requesters-manual-16nov09-en.pdf>

# ありがとうございました

---

ICANNソウル会議概要報告  
第26回ICANN報告会  
2009年12月17日